

# 響きあう アジアの音と 楽器



キルギス（クルグズ）共和国ビシケク生まれ。2007年、東京藝術大学音楽研究科に入学。2010年、東京藝術大学大学院修士課程修了。2014年、東京藝術大学博士課程修了。博士（音楽学）。三弦楽器のコムズ、金属口琴、木製口琴の演奏家としても活躍する。

Umetbaeva Kalyiman

ウメトバエワ・カリマン氏（コムズ）

—コムズと津軽三味線—



山中信人氏（津軽三味線）

中学校卒業後15歳で単身青森県弘前市に渡り、津軽三味線奏者「山田千里（やまだちさと）」の内弟子として4年間修業、山田流師範となる。津軽三味線世界大会では最上級A級2年連続優勝、また津軽民謡の伝統的な唄付け（うたつけ）の技術を競い合う「唄付け伴奏部門」で3度の優勝を獲得。現在はソロ奏者として国内外で活躍する。洗足学園音楽大学非常勤講師。加須市観光大使。

アジアの楽器の響きとは？演奏法は？音楽はどのようなもの？国内外で活躍するコムズ奏者のカリマン氏および津軽三味線奏者の山中氏をお招きし、両者の音楽の在り様や演奏の比較を通して、アジアの音楽や文化について考えていきます。

2017年 12月12日（火） 17:00-18:30  
会場 人文学部 第4講義室

入場無料 事前申し込み不要

連絡先：芸術コミュニケーション分野 濱崎研究室 t-hamazaki@shinshu-u.ac.jp